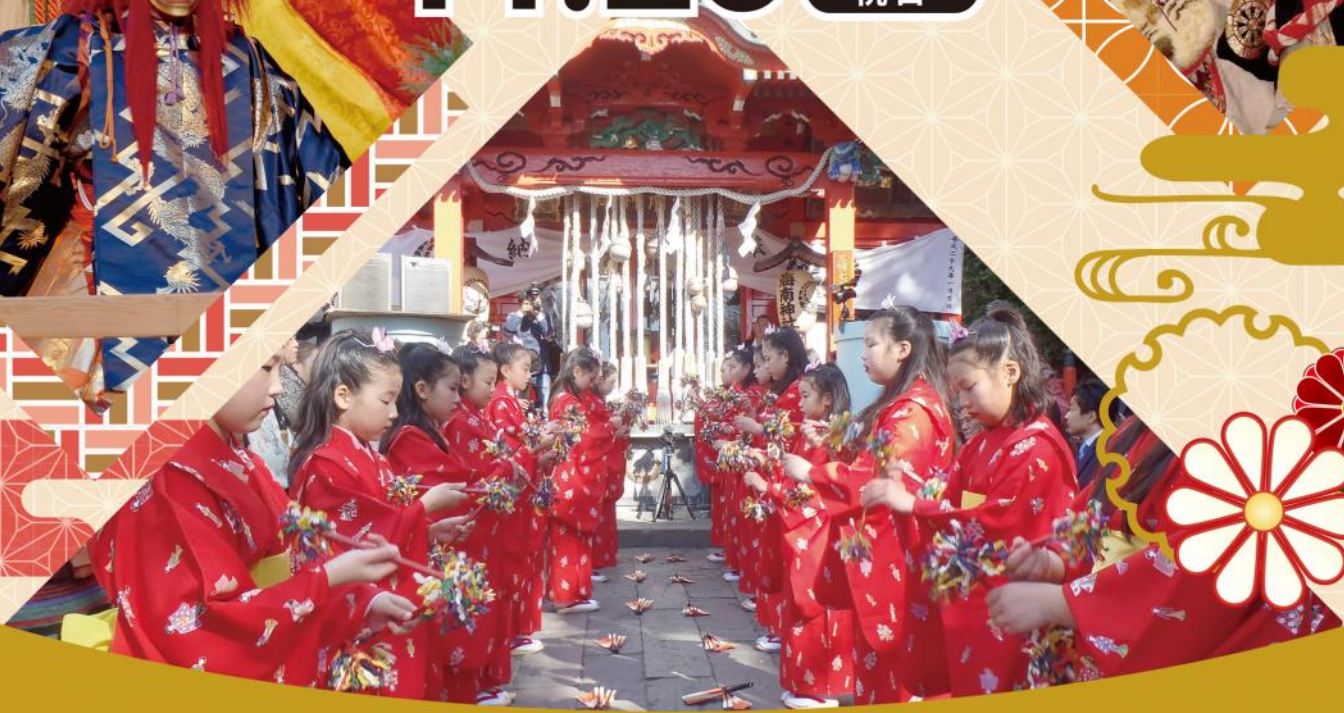


平成 30 年

かながわ 伝統芸能 ふれあい祭

11.23 金曜日
祝日



日時 大劇場 16:00 開演 (15:30開場) / 小劇場 13:00 開演 (12:30開場)

会場 横須賀芸術劇場 (横須賀市本町3-27)

内容 大劇場 各団体演目披露
小劇場 伝統芸能ワークショップ、ロボットパフォーマンスなど

入場無料

事前応募
詳細は神奈川県ホームページで



ジンタラムータ

大熊フタヒクラリネット)、こぐれみわぞう(チンドン太鼓)を中心とするチンドン楽団。前衛ロック



を経てチンドン楽士として修行した大熊が、和洋折衷フォーマットとしてのチンドンをベースに、新たな解釈で世界の音楽とのハイブリッドを重ねてきました。

スケジュール

時間	大劇場	小劇場
13:00		
14:00		伝統芸能ワークショップ ロボットショー
15:00	ジンタラムータ ミニライブ @ホワイエ	
16:00	第一部 伝統芸能披露①	
17:00		
18:00	第二部 伝統芸能披露②	
19:00	第三部 伝統芸能披露③	

お申し込み

お申し込みは県のHP上の申し込みフォームまたはファックス、ハガキによりお申込下さい。定員を超えた場合は抽選を行い、抽選にもれた方のみご連絡させていただきます。20日(火)までに連絡がない場合は、そのまま会場にお越しください。

アクセス



横須賀芸術劇場

〒238-0041 横須賀市本町3-27

お問い合わせ

神奈川県国際文化観光局文化課 マグカル推進グループ「かながわ伝統芸能ふれあい祭」係り

〒231-8588 横浜市中区日本大通1
TEL / 045-210-3806 FAX / 045-210-8840

虎踊り(浦賀虎踊り保存会)

虎踊りは、虎の縫いぐるみを着て暴れるように踊る踊りです。浦賀の虎踊りは、享保五(1720)年に伊豆下田の奉行所を浦賀に移された時に町人も共に来て伝えられた踊りであるといわれています。



チャッキラコ

岬の仲崎・花暮地区に伝わっています。踊り手は、4、5歳から今は12歳までの女の子となります。楽器は使わず素唄であり、曲目により扇を一本あるいは二本持って踊るが、1曲だけは、チャッキラコという綾竹を持って踊ります。ユネスコ無形文化遺産。



鎌倉能舞台

1970年、日本の伝統文化「能楽」(ユネスコの世界無形文化遺産)の振興と普及を目的として創設。鎌倉市長谷に能舞台を構え、定期公演「能を知る会R」を字幕解説付き=「字幕e能R」で開催。



神奈川県太鼓連合「鼓粋」

1995年4月、「純粹」で「粋」な太鼓にと「鼓粋」と称し結成。演奏曲は、伝統的な和太鼓の響きを大切にするとともに、新しいサウンドへのチャレンジを心がけながら創りだした、すべて鼓粋独自で作曲した創作和太鼓。



海南神社「面神楽」(海南神社面神楽保存神楽師会)

三崎の海南神社で江戸時代より保存伝承されている里神楽です。11月初めの末の日に「出居戸(でっ)の神楽」と呼ばれる神職により行われ、その翌、翌々日の申・酉の両日の夜、神楽殿で10から12演目を奉納。三浦市重要無形民俗文化財。



長井町飴屋踊(長井町飴屋踊保存会)

三浦半島の海辺、長井町に江戸時代より伝えられた郷土芸能で、祭や祝い事の度に演じられていました。今では地域の子供が踊り手になり三番叟、新川、ねんねこ、白折粉屋、の4演目が継承されています。



あつぎロボットゆうえんち

ロボットゆうえんちでは、ロボットとの触れ合いを体験できます。等身大の大きさのなまはげをイメージしたロボットやロボットのダンスショー、またロボットを操縦して、サッカーやバスケットボールの体験ができます。



神奈川フィルハーモニー管弦楽団

2020年に創団50周年を迎える神奈川フィルハーモニー管弦楽団は、地域に密着した音楽創造を使命に年間200回に及ぶ公演を実施しています。弦楽四重奏と箏の共演で東西の伝統文化をテーマに演奏します。

